柏市レスリング協会
Kashiwa City Wrestling Association

柏レスリングクラブ
Kashiwa Wrestling Club

創立10周年記念
The 10th Anniversary in establishment

2006.8.26
記念誌

1994
▼
2006

柏市レスリング協会

柏市レスリング協会の生い立ち

柏市レスリング協会　会長　西富 啓一

平成７年、親しい友人から豊島順男氏を紹介され、増尾の喫茶店でお会いしました。豊島氏は課外でレスリングを通して児童生徒を指導されている熱血教諭です。かつて同氏が柏市立土中学校で教鞭をとっておられたとき、威勢の良い男子生徒たちをレスリングの部活に誘い、体当たりで指導されたそうですが、喫茶店はそのときの生徒の親が経営されているお店でした。

豊島氏はこれから、レスリングを通して健全な青少年を育むため協会を立ち上げ、組織的・体系的指導体制を整えたい、そして、柏市にレスリングを根付かせ、スポーツのまちづくりに役立ちたいと力説されました。ついては私に会長を引き受けてくれとのお話でした。私はそれまでレスリングとの縁に乏しく、自分の役割がつかめませんでした。

お話を聞いていると、今、柏市立光ヶ丘中の格技場でレスリングの練習をしているが、大学の古マットを寄せ集めて使用しており、プレイ中に足をとられるなど大変危険な状況なので、早急に新しいマットを確保したいとの意向を知り、当面、マットを確保することが私の責務なのかと悟り、お引き受けしました。練習の場を訪れると幼児たちは親がはらはらするハードなスパーリング、基礎訓練に夢中になっており、危険回避にマットの新調が欠かせないと痛感しました。間もなく指導者と社会人に育ったかつての教え子を中心に協会を立ち上げ、本格的な練習が始まりました。教育委員会のご理解を得てマットは矢後眞直教諭が勤務する柏市立光ヶ丘中学校（現柏三中）の備品として購入していただきました。すべすべした張りのあるマットの上で幼児たちは思いっきりスパーリングに励んでいました。

子たちの成長は著しく、児童の部として設けた柏レスリングクラブは小学校１年から５年まで全国大会で連続優勝した矢後匡平君をはじめ、毎年、全国大会、関東大会、千葉県大会での優勝はもとより上位入賞の児童が輩出する名門クラブの一つになりました。柏市民体育大会総合開会式では毎年、全国、関東、千葉県大会で優秀な成績を収めた柏レスリングクラブの選手が表彰されています。柏レスリングクラブで基礎訓練を体験した児童たちが将来、オリンピック選手に育つ日の訪れも夢ではありません。平成 11 年には柏の葉総合公園体育館で千葉県民レスリング大会が開催され、また、平成 12 年７月には柏市民体育館で千葉県少年レスリング大会が開催され、県内 138 人のちびっこ選手が参加しました。いずれも、柏市レスリング協会が大会運営の核となり、組織的な体制を確立していることを認知される機会となりました。

指導者の飛ばす激しい檄に応え、保護者同志の家族的な温かい見守りのなかで、悔し泣きしながら相手に向っていく逞しい子たちを目前にし感動しています。

2006.3 六年生を送る会にて

柏市レスリング協会設立 柏レスリングクラブ発足 10周年の回顧録

柏市レスリング協会　副会長　石塚 和久

平成8年、松戸ジュニアーレスリングクラブに参加していたチビッ子レスラーの矢後愼太郎（小2）と匡平（幼年組）二人の経験者を引き連れて父親の眞直氏が、当時松戸クラブの副理事長でした豊島順男氏の賛同と支援を受けて松戸クラブから分離独立のため柏市レスリング協会を創立、柏市体育協会の公認を受けて柏レスリングクラブを旗揚げして活動を開始してから10周年を迎えました。

10年一昔、クラブ発足当初は皆チビッ子でしたが、当時の愼太郎、匡平兄弟は既に高校生レスラーとして高校総体への出場や、全国の主要大会にて活躍中です。他に同世代以降の柏クラブ卒業生レスラーは、平尾駿（立命館・宇治高）、増田賢太郎・金子勇（八千代松陰）、高校新人の平尾遼と鈴木祥一人（共に八千代松陰）、中学生は堀井研昨、岩城眞我、更に新中学生の平尾透、浅倉凱斗、女子では矢後佑華、米岡優利恵も現在当クラブで練習を続けながら後輩チビッ子達の指導助手、そして中学生の各大会に出場して活躍して居ります。また、中学から始めた阪村翔太郎も関東第一高等学校を卒業後現在、社会人となっています。発足10周年の節目にあたり、現役父母の会、及び、創立時代以降の父母ＯＢの皆様と柏レスリングクラブの更なる繁栄を願い往時の初期2試合を回顧します。

第12回千葉県少年少女レスリング大会
平成8年6月22日（野田市）

出場チビッ子は試合順で：①栗川晃一、②木村 翼、③矢後愼太郎、④矢後匡平、⑤島村大樹、⑥河野 拓、⑦植竹将太、⑧田中里奈、⑨田中祐太であった。愼太郎と匡平以外は柏クラブ旗揚げ後の初試合。ビデオ第一号の懐かしい映像には現在では高校総体出場の実力者、愼太郎が一回戦でボロ負け、顔を歪めて涙を拭き拭き泣きながらマット上を走って退場。一方、弟の匡平の強さは抜群で全試合をＴＦ勝ちで優勝。拓は未だレスリングを知らずマット上を駆け回り「逃げるな！」と豊島理事長、今村ヘッドコーチから檄が飛ばされた。皆が初試合でも良く頑張りました。

第13回全国少年少女レスリング選手権大会
平成8年7月27-28日（黒部市）

出場チビッ子は前月の千葉県大会に続いて①栗川晃一、②木村　翼、③矢後愼太郎、④矢後匡平の4名、前日の長距離ドライブ後一泊、翌早朝宿舎前で撮った集合写真、豊島理事長、今村ヘッドコーチ、指をおしゃぶりの佑華ちゃんを抱いた矢後パパとそのファミリー、私を含めたこの写真こそ柏レスリングクラブの原点として懐かしく往時を思い出させます。撮影後の早朝散歩、海岸で休息中に石を投げて遊んでいた子供達、匡平が滑って浅瀬にボッチャン！ 全国大会初出場の柏クラブからその匡平が幼年の部19kg級で第三位に入賞の快挙でした。

柏レスリングクラブの繁栄を願いつつ、10年間に収録したビデオは約90本、この記念誌に掲載の写真集と共に10年一区切りの役割を果たせたことに感謝します。次の創立20周年に向けて、先ずは創立10周年おめでとうございます。

柏市レスリング協会
柏レスリングクラブ
創設変遷

柏市レスリング協会　副会長　豊島 順男

柏市レスリングクラブ創立10周年おめでとうございます。

平成7年4月柏市体育協会に加盟でき、晴れて日の目を見ることができた柏レスリングクラブでありますが、柏市のレスリングそのものはもっと古く困難の道でありました。

柏市のレスリングの始まりは、小松崎氏、矢後兄弟が習志野高校でレスリング部に入部したことだったと言っても過言ではないと思います。（今村コーチが時々練習に顔を出していたとも聞いています。）

小生が柏のレスリングと関わりを持つようになったのは、西原中在職時に流山南部中で、レスリング部の顧問であった矢後氏の口添えで3名の生徒を引率し、佐倉の合宿に参加した事からであった。運動能力に優れた生徒であったが、野球部員だったのでそれで終わったのが残念であった。その後、土中に異動し、前川氏と供にレスリング同好会を創設し、多くのレスラーを育てたと自負している。（佐藤コーチはその時の教え子であるし、佐藤昌樹は全中で2位となり、韓国遠征に参加している。）前川氏の異動で光中にレスリング部ができ、その後矢後氏（現理事長）が光中に異動となり、西富会長、石塚・酒巻両副会長、今村ヘッドコーチをはじめ多くの保護者の協力のもと今日の柏市レスリング協会の礎を築くことができたと思っております。

初めの頃は、立教大学のお下がりのレスリングマットでの練習でした。薄いマットで投げられると痛く、タックルでもよく擦り傷を作っていたようです。その後、西富会長のお骨折りで試合用の公認マット2面を柏市から購入して頂き、今日に至っております。

柏市レスリングクラブでは、“たくましい身体とやさしい心”創りをモットーに取り組んで来ました。今まで多くのチャンピオンを生み、千葉県ではもちろん、全国的にもその名を知られるようになりました。チビッ子で育った子どもたちは、中学･高校でも活躍して詠ますし、また、最近では女子チビッ子の台頭も著しく、近い将来には全日本での活躍、さらにはオリンピックでのメダリストの誕生も夢ではないと思っております。

柏レスチビッ子　NEVER GIVE UP 頑張れ！

1996年バルセロナに続き、アトランタオリンピック出場の
鈴木賢一氏の壮行会にて（現若葉レスリングクラブ代表）

2006.7 全国大会（駒沢）

『みんなレスラー、めざせオリンピック！』

柏市レスリング協会　理事長　矢後 眞直

レスリングというスポーツを通して、子どもの健全育成あるいは心身ともにたくましく!!を第一に掲げ10年間活動してきました。「柏市レスリング協会」のスタートは、柏市議会議員の西富啓一氏<柏市レスリング協会会長>・石塚和久氏<柏市レスリング協会副会長>・豊島順男氏<柏市レスリング協会理事長>と私を含め、わずか数名でした。同時期に「柏市民レスリング教室」を柏市立光ヶ丘中学校で開催し、今村房雄氏<柏レスリングクラブヘッドコーチ>が中心となり、４～５歳児から中学生までの練習の指導に熱心に当たられました。

今の形になるまで約10年間の地道な活動がなされ、その間数多くの関係者の方々によるご支援、ご協力を頂きながら、協会及びクラブは、その理念を核として脈々と引き継がれて、年々発展・向上し今日に至っています。その中で、特にレスリング競技にとって一番大切なレスリングマットの設置については、西富啓一会長と関係各位のご厚意により真新しいマットが２面柏市に常備され全国的にみても非常に希なことであり、このように恵まれた環境の中で活動できることに心から感謝申し上げます。

また、今まで「柏市民レスリング教室」や「柏レスリングクラブ」でレスリングを経験・体験した子どもは、優に100名を超えていますがほんの一時でもクラブに所属し活動した子どもや、あるいは何らかの理由で辞めた子どももレスリングのマットの上でかいた汗や、流した涙は他のどんな事にもかえられない一生忘れることのできない素晴らしい人生の宝物になると私は確信しています。

一方、こつこつと地道に活動してきた成果として、「柏レスリングクラブ」全体が年々レベルアップし、毎年７月に開催される「全国少年少女レスリング選手権大会」においても、優勝者や入賞者が数多く輩出されるまで力がついてきました。競技スポーツあるいは、オリンピック種目であるということからも、試合で勝つという目標をもつこともとても大切なことだと思っています。オリンピック出場とともに金メダル獲得という壮大な目標を掲げて「柏レスリングクラブ」の指導者や選手さらに「父母の会」全員で、今後益々日々努力していきたいと考えております。しかしながら、10年間活動してきた今現在の状況は、「柏レスリングクラブ」出身者の男子の現役最高選手が高校３年生（矢後愼太郎）女子の現役最高選手が中学１年生（米岡優利恵・矢後佑華）です。このように考えてみると、今までの10年間は組織や練習の土台固めの時期であったと考え、これからの10年間で是非とも、全日本選手権やオリンピックに出場できるような選手を育て、２０周年ではその成果や結果の報告ができるようにしてきたいと考えています。

最後に、短期間でチャンピオンのみを目指し優勝することより、レスリングの基礎・基本をしっかりと身に付けている真に強いレスラーの育成とともに、挨拶や礼儀・言葉遣いがしっかりでき、お世話になった方々に感謝の気持ちをもてる人間形成を目指していきたいと考えています。

今後、「柏市レスリング協会」「柏レスリングクラブ」が、上記に掲げた目標を達成できるよう安全第一で、さらなる精進をしていきたいと考えております。皆様方のご理解・ご協力よろしくお願い致します。

高校時代
右４番目奥
今村コーチ
との出会い
もこのころ

2006. 練習風景

元気にはばたけ、3世代の子供達

柏市レスリング協会顧問
柏レスリングクラブ
ヘッドコーチ　今村 房雅

矢後先生から「一緒にチビッ子レスリングを立ち上げませんか」と誘われてから既に3世代目の幼児たちがマット上で飛び回ったり、泣いたりしています。

私が平成3年から吹田市民クラブの押立先生に4年間余りチビッ子指導の教育を受け、その経験がお役に立つならと光中学へ出向いたのが最初でした。そこに豊島先生がおられ、どこかで記憶のある人だなと思いましたが、昭和37年当時同志社大学に在籍されていたとは夢にも思いませんでした。

矢後先生とは習志野高校以来の付き合いだし、人の因縁とは、レスリング繋がりとは面白いものだと感じています。

最初に3世代と書きましたが、前転のできない幼児がレスリングらしい動きになり、勝った負けたで泣き、笑うまで約3年かかります。この間に辞める子供も他のスポーツに向かう子もいます。私が60歳を過ぎてもレスリングに関わっている理由は、「人生は健康で明るくないと楽しくない」ということを子供たちに教えたいからです。健康は体を動かすことからできています。全身を効率的に回転させ、動くレスリングこそベスト運動と私は考えています。レスリングで体を鍛え、他のスポーツに変わってもその人達はレスリングを忘れないでしょう。勿論強いレスラーになってくれるのが私にとってベストですが。

最近の出来事を観て下さい。もし、子供の時に何か運動で汗を流し、泣き、笑い、親子で栄養のある「愛」を相互に感じていたら起こらない事件が多発しています。子供達はがんばっています。周囲にいる者の我慢が必要なのです。子供達と同じ運動を父母の方ができますか。子供の努力、父母の我慢、これが子供を育て、強くするものと私は考えています。子供達が成長し、変化していく姿を楽しみに10年先もレスリングがやれるよう私も精進しようと今また決意しています。時々、父母の皆様も子供と取組み合いをして下さい。若いエキスをプレゼントしてくれますよ。

2006. 練習風景

1997. 全国大会

2006. 練習風景

息子とレスリング

柏レスリングクラブ
コーチ　米澤 良雅

明日は柔道の柏市民大会である。しかし、当の息子（光ヶ丘中学３年）はレスリングの試合で水戸に行っている。早朝水戸まで息子を迎えに行った。レスリングの試合会場に行ってビックリした。北海道から九州まで日本全国から集まった選手、応援団等で会場はむせかえっていた。それもそのはず、この会場は、全国中学生レスリング選手権大会会場であった。

明日行われる市民柔道大会で、息子は前年度準優勝であった。そんなことから今年度は優勝を狙えるのではないか？そんな思いで息子を探し出した。しかし、息子はこのレスリング大会でも勝ち残り明日決勝だと言うではないか。引率の先生方から説得され、息子も明日の決勝に出ると言う。しかたなく、柔道部の先生に事情を説明し、柔道大会は欠場することとなった。この欠場が私のレスリングとのかかわりの第一歩であったと思う。

息子はその後、カナダのアルマで行われたカデット世界大会に出場した。我々（妻・長女）３名はその応援に行こうと言うことを考え、試合日に合わせてカナダへ行ったが、カナダは広い。ホテルでアルマと言う都市を聞いても知らないと言う。息子の宿泊先のホテルに電話を入れても韓国選手は居るが日本人は居ないと言う。そんなこんなで我々はカナダツアーになってしまった。家族との海外旅行など思いもよらなかった。
これは15年前のことである。

その後、息子はレスリングを続け、高校総体、国体、インカレ、全日本大会等に出場し、我々も日本各地を旅行させてもらった。

10年程前、私は身体を患い、病院のベッドの上で色々と振り返るいい時間を持てた。退院したら身近で何か役に立てることをしたい。そう考えていた時、息子から少年少女レスリングのサポートをしてみないかと誘いをかけられ、ふたつ返事でこのクラブに入った。毎週日曜、子ども達と汗を流し、レスリングのイロハから学んだ。そしてＢ級審判のライセンスを取り、レスリングの世界に足を踏み入れて行った。

これまでの自分の世界にない、全く異なった分野への第一歩だった。

子ども達に練習や試合を通し、言い続けたことは勝った時、負けた時、その原因をよく考えることをしなさいということである。そのことが進歩に繋がり、大きく成長させると思っている。

腹の出が気になる父母のみなさん（私も含めて）子ども達と一緒に汗を流してみませんか。レスリングは頭から足先まですべての筋肉を使って行うスポーツです。柏レスリングクラブの発展のためにも子どもと一体になって参加しましょう。

1999. 冬期納会にて
左 米澤氏

1998. 夏期納会にて
右 河野氏

柏レスリングクラブとの出会い

柏レスリングクラブ
父母会第３代会長　河野 則夫

「餅つきに行かない？」これが、柏レスリングクラブとの出会いだった。

クラブで最初の納会に、子供が通う同じ保育園のお母さんから声を掛けられ、食べ物につられて参加し、まさか、その後９年間も通うことになるとは、その時には思いもよらなかった。

娘が小学１年生から小学５年生まで、息子が保育園年長から中学３年生までお世話になりました。

始めは、「レスリング？あの、ピッタリしたウエアを着てやるやつか・・・」その程度しか知らないスポーツでした。ルールは勿論、何も知らない度素人だった親子。

それが、練習を重ね試合に出掛ける度に、親子してレスリングにのめり込んでいった。

柏レスリングクラブに９年間在籍してこれたのも、子供達を御指導下さった先生方や御父兄の方々が温かく見守って下さったおかげです。縦の繋がりだけではなく、横の繋がりが持てたことが心強く親子共々支えになりました。

辛かった練習も苦しい思いも乗り越え、なによりも子供がレスリングを好きだったことも手伝い、続けられたことだと思います。

最後になりましたが、クラブ創立10周年おめでとうございます。今後もクラブの発展と御活躍を期待しております。

2000.6 年生を送る会にて　左前より２列目 平尾氏

レスリングを通した貴重な体験

柏レスリングクラブ
父母会第４代会長　平尾 和志

柏レスリングクラブ創立10周年、おめでとうございます。

柏市民でもない私たちが、ちょっとしたきっかけで柏レスリングクラブに籍を置き、早いもので９年になります。その間、多くの先生方のご指導を受け、多くの会場に足を運び、多くの人達と知り合い、多くの子供たちと関わることで多くの思い出を作ることができました。

また、各大会での審判を通じて子供たちの一試合ごとに一喜一憂、泣き笑いする姿に立ち会えたことは我が子にも照り返し、気持ちを共有することができた気がします。三人の子供たちもそれぞれ進学に伴いレスリングのステージを変え、日々精進しているようです。

親子共々、レスリングを通じて他では得がたい貴重な体験をさせていただきました。

微力ながら今後も地域の子供たちにレスリングを通して厳しいが故に得られる楽しさ、すばらしさを伝えるためのお手伝いができましたら幸いです。

祝、柏レスリングクラブ10周年

柏レスリングクラブ
父母会初代会長　植竹　将治

柏レスリングクラブ創立十周年おめでとうございます。

月日の立つのは早いものです。創立当初は光ヶ丘中学校の武道場を借り受けて練習を行っており，毎週日曜日になると子供たちが元気にレスリングに汗を流す姿が見られました。

当時，一期生であった子供たちもたくましい青年に成長し，各分野で活躍されておられると風のたよりを耳にします。これもひとえに柏レスリングクラブで培った体力と精神力が土台となっているものだと確信致しております。また現在選手として頑張っておられる諸君の活躍を耳にするたび誇りに感じております。各方面から近況を知らされるたびに柏レスリングクラブの歴史の重みを感じとっている昨今でございます。ご指導を頂いている諸先生，先輩方，ご父兄の皆様方の応援ご指導のもと，創立十周年を迎え益々の発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

1997. 全国大会にて

柏レスリングクラブの思い出

柏レスリングクラブ
父母会第２代会長　堀　満、堀　郁子

丸十年が過ぎ、今年の９月で11年になるのですね、おめでとうございます！石塚先生、今村先生、豊島先生、矢後先生、佐藤先生、父母の皆様お疲れ様でした。本当にご苦労様です。

平成７年晩夏のことです。柏市の広報を見て女房（郁子と言います）が少年少女レスリングの募集があるけれどもと言います。何かスポーツをやったほうがいいなとは考えてはいましたが、レスリングですか？ルーテーズか！ボボ・ブラジルか？

広報の要項にある９月の日曜日に行ってみましたが、誰もいません１時間ほど待ちましたか。その次の日曜日にも行きましたが生憎台風が来ていました。誰も来ません、やはり１時間ほど待ちました。やってないのかな？３回目の日曜日にがっしりとしたなにやらそれらしい人が体育館の鍵を開けています。あの、これ、柏レスリングクラブですか？ちょっと見せてもらってもいいですか？結構いい加減なものでした。

それから色々な所へ行きました。群馬県・館林市、大間々町、福島県・田島町、栃木県・壬生町、宮城県・仙台市、秋田県・秋田市、その他諸々の試合会場。みな良い思い出として残っています。普段行こうと思わない場所ですし平凡な私には考えつきもしない体育館めぐりです。メンバーには色々な職業の方がいます。この父母の交流も楽しい。亡くなった我が親友の谷内が“これって、究極の異業種交流じゃないか？”そうだね！

誰が言うわけではないのに、それぞれに父母が役割を担って練習も試合もお互いが融通しあって協力して、いがみ合うことがあっても融和し、練習場も試合会場も全て手作り。練習場内整理整頓、マット引き、清掃、洗浄。女房には感謝しています。コンクリートの上にビニールシートを敷いて食べる昼食。持ってきたポットでお湯を沸かす人。写真やビデオで記録する人。それを編集して皆に配る人。全て手作り。

勝っても負けても子供たちの体力・精神の成長のためという思いが先生父母共通にあり、今村先生の有名なビンタ、我が愚息ふっとんだこと１回や２回でなく、矢後先生の華麗な徒手体操の技のすばらしさ、佐藤先生の“痛くねーよ！”の敢闘精神、は豚児の今後の人生に末永く残るものを教えていただけたと深謝しています。これぞクラブというクラブでした。

今後の更なる発展を祈念いたします。

2006. 現在
家族旅行にて

レスリングを通じて

柏レスリングクラブ
父母会第５代会長　米岡　茂幸

柏レスリングクラブ設立10周年、誠におめでとうございます。

私共は、長男は小学時の４年間、長女は中学１年の現在もお世話になっております。

さて、入部から現在までのことを述べますと、きっかけは市民体育館のポスターでした。全くレスリングは知らなかったのですが、私自身武道をやっていたので子供達にも格闘系はやらせたいと思っていた時でもあり、早速光ヶ丘中の道場に見学に行きました。ところが予想以上に内容はハードであり、一緒に居た娘は嫌がるだろうなと思いながら娘を見ると、逆に目が輝き今すぐにでも参加したい勢いでした。この時すぐに練習に参加させて頂き、現在に至っております。

同時に私自身も矢後先生の熱い指導（？）のもと、レスリングの基本を教えて頂き、なんと試合にまで出た事もありましたが、今では良い思い出となっています。

現在、最初は考えられなかった事ですが休日はレスリング中心の生活になり、それに何より色々な方々と知り会えた事も家族の財産となったと感謝しております。

次に入部して現在まで一番感じている事ですが、先生・コーチの方々の非常に熱い思いを持った指導です。肉体

2000. 会津たじま大会にて
最後列左から２人目
米岡氏

面は当然ながら、礼儀・精神面に於いても時には親以上にご指導頂き、幼年・小学生時の「人」としてのベースができる時期に在籍していたことは子供達にとり、良い影響があったと思います。正に「健全な肉体には健全な精神が宿る」の実践ではないでしょうか。私自身今後もレスリングという「心・技・体」を兼ね備えたスポーツを広めるため、非力ながら協会の方々のサポートができればと思っております。

最後に協会の先生・コーチの方々のボランティア活動精神に対し、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。今回の10周年をはじめとして20、30周年が開催できますよう、並びに柏レスリングクラブが「強さ」と社会教育面」で日本一のクラブになることを確信し、ますますの発展をご祈念致しましてお祝いのお言葉とさせて頂きます。

人と人の結びつきに感動

柏レスリングクラブ
父母会第６代会長　浅倉　幸子・洋平

10周年おめでとうございます。

我が家が柏レスリングクラブに入ったのは２年半ほど前です。

格闘技大好きの夫にとって、ちびっこレスリングのチームが近所にあるなんて衝撃的で、我が子達のやる、やらないの気持ちに関わらず、すぐに入会しました。

練習が始まってまず、子供達の様子に驚きました。小さい子、出来ない子には大きい子、出来る子が教えてあ

2006. 練習風景
今村コーチの後方
浅倉氏

げる、小さい子は大きい子を尊敬している、それがとても自然で感心しました。

積極的にスパーリングなどに参加しているお父さん達。子供達と同じように汗びっしょりでなんとも清々しく見えました。心強い存在のお母さん達。まだレスリングシューズも持っていないうちの子達に、おさがりを譲ってくれたり、クラブのＴシャツや試合用のシングレットも素晴らしい段取りでどんどん用意してくれました。

先生方も厳しく、優しく、わかり易く熱い情熱でレスリングを指導してくださる、厳しさや優しさの中でレスリング以外でも学ぶ事が多いだろうなと確信しました。

そんな先生方を筆頭にレスリングに一生懸命なこの柏レスリングクラブに出会えた事が我が家にとって誇りです。

今度は私達が新しく入ってくる人達、周りの人達に感動を与えられたら、と思っています。

また、おかげさまで新しいメンバーがたくさん増えました。どの子も将来有望なちびっこレスラーです。チームみんなでこの子達を見守っていきたいと思います。

そして、柏レスリングクラブの今後の活躍をぜひ期待していただきたいと思います。